

2020年10月1日

No. MME0107

冷熱発電用タービンの提供

当社は株式会社商船三井(MOL)と大宇造船海洋(DSME)が共同で開発する LNG 冷熱発電システムの試験用冷熱発電機タービンを納めます。

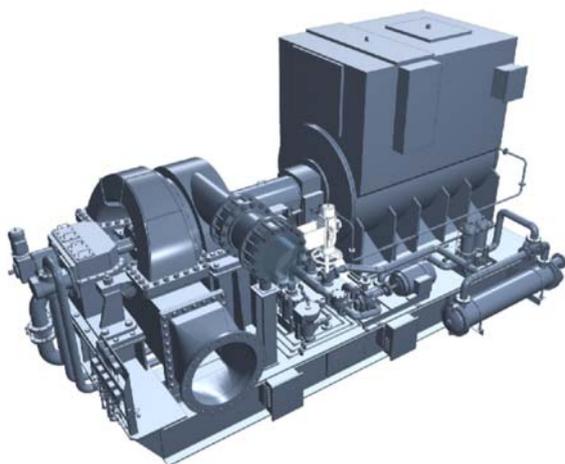
「Cryo-Powered Regas (再ガス冷熱発電)」と名付けられたこの LNG 冷熱発電システムは FSRU (Floating Storage & Regasification Unit) 向けの環境負荷の低減を目的とした両社の新たな取り組みで、これまで海水に排出していた LNG 冷熱を発電エネルギーとして利用することで FSRU が LNG を再気化する際の燃料消費量及び CO₂ 排出量を大幅に削減する効果が期待できます。

この開発の一環として陸上小型設備での実証試験が計画されており、当社はこの設備向けの発電タービン提供と合わせ、将来の実船への搭載に向けた技術的な支援を進めております。

今回の冷熱発電用タービンは当社船用としては初の試みですが、三菱重工グループの陸用製品で既に有する技術と知見も活用しながら最新鋭の設計を施し提供するものです。

当社ではかねてより大型商船向けの排熱回収システムの提供を中心に船舶の省エネ化を支援してきましたが、今般、海運業界でも取り扱いが激増する LNG から生じる冷熱も有望な回収可能な熱源と見据え、省エネソリューション提案の幅を広げることで低炭素社会の実現に貢献すべく積極的に取り組んでいます。

以上



【タービン外形図】



【再ガス冷熱発電のロゴマーク】

担 当 窓 口 : 三菱重工マリンマシナリ株式会社